

板橋宿不動通り商店街無電柱化事業の完了について

1 事業の目的

不動通り商店街は、歩行者と自転車の通行が多く、中山道からの抜け道としても使われている。このような状況から「歩行者にとって安全安心な道路づくり」を実現するため、通行の阻害になっている電柱を無くすことで安全性と防災機能を向上させ、快適な歩行空間の創出と良好な景観形成を図る。

2 事業の経過

- ・平成18年度 商店街協議・説明会、地元協議会設立、基本計画案
- ・平成19年度 無電柱化実施方針決定、電線共同溝予備設計、警視庁協議
- ・平成20年度 電線共同溝詳細設計
- ・平成21年度 占用企業者工事
- ・平成22年度 電線共同溝設置工事(1/2区間)
- ・平成23年度 電線共同溝設置工事(2/2区間)
- ・平成24年度 電線類入溝、道路復旧詳細設計
- ・平成25年度 道路復旧工事(1/2区間)
- ・平成26年度 道路復旧工事(2/2区間)
- ・平成27年7月26日 商店街主催による完成記念式典

3 事業収支内訳

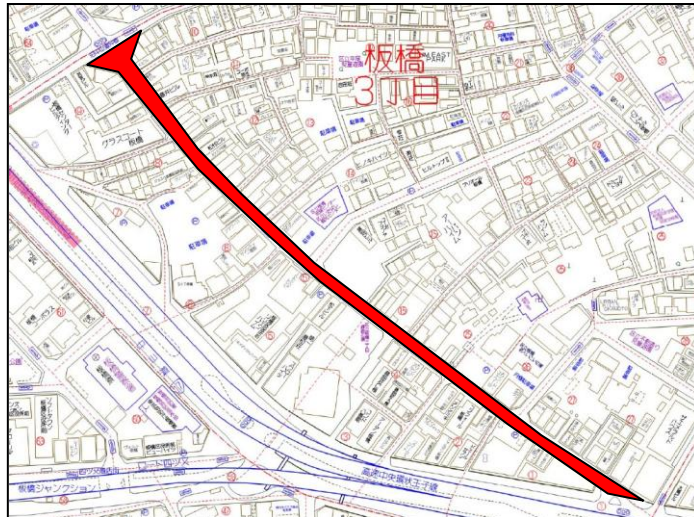
歳出

共同溝整備工事に係る委託(委託料)	約 1,200万円
支障移設(補償補填)	約10,800万円
共同溝本体・舗装工事費(工事請負費)	約36,700万円
引込連系管(負担金)	約19,000万円
計	約67,700万円

歳入

国・都補助金	約 8,100万円
建設負担金	約 400万円
計	約 8,500万円

4 案内図



板橋区板橋三丁目1番地～10番地先
(延長 : 約400m 、 幅 : 7.1m～8.6m)

5 整備前後写真



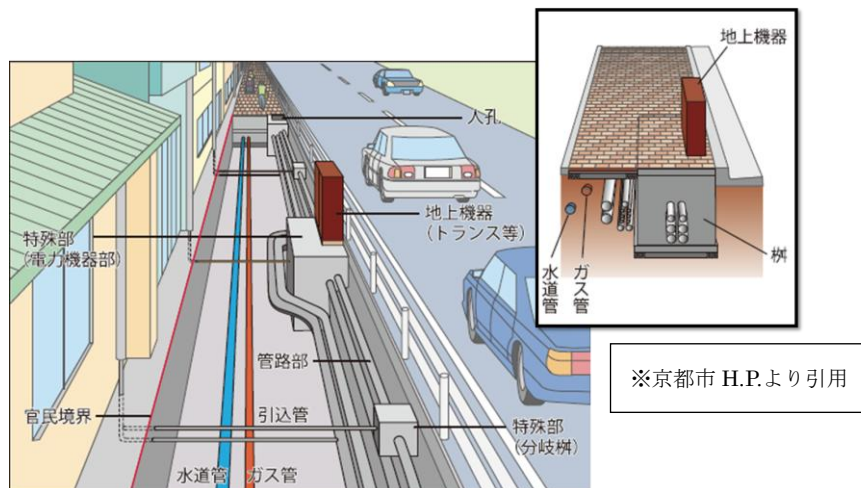
整備前



整備後

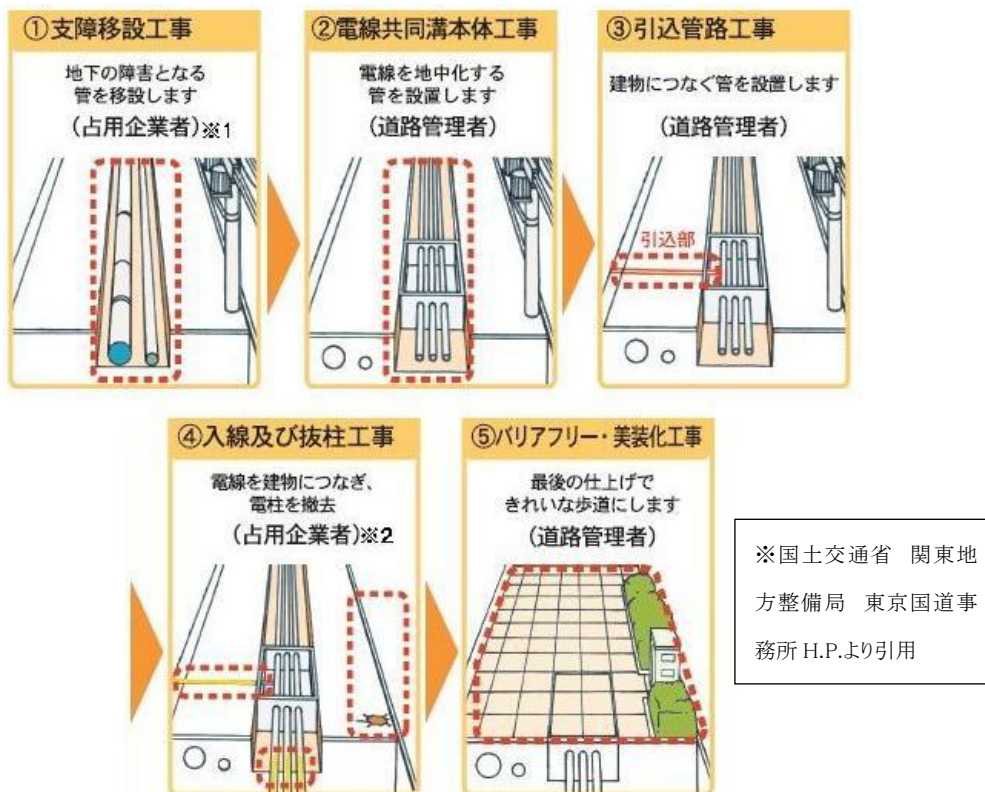
1 電線共同溝について

電線共同溝は、道路の地下空間を活用して電力線、通信線等をまとめて収容する無電柱化の手法で、沿道の各戸へは地下から電力線や通信線等を引き込む仕組みになっており、通常は歩道付きの道路の歩道部地下に設ける。



電線共同溝のイメージ

2 電線共同溝工事の流れ



※1：あらかじめ道路の地下に埋めてある埋設企業（上下水道、ガス、東京電力、NTT など）

※2：電線共同溝の中にケーブルを入れる入溝企業（東京電力、NTT、その他通信系など）

3 用語の解説

電線共同溝:電線の設置及び管理を行う2以上の者の電線を収容するため、道路管理者が道路の地下に設ける施設をいい、一般部、特殊部及び連系管・引込管からなる。

一般部:道路管理者及び電力、通信・放送事業者等のケーブルを収容する管路部分をいい、本線部、連系管・引込管がある。

特殊部:需要家への供給のための分岐・接続等を行う分岐部、ケーブルの接続を行う接続部を総称していう。

連系管:電力、通信、放送事業者等のケーブルをマンホール、電柱等の周辺設備から電線共同溝に連結するために敷設する管路をいう。

引込管:電力、通信、放送事業者等のケーブルを電線共同溝から需要家等に供給するために敷設する管路をいう。

地上機器:地上に設ける変圧器(トランス)等をいう。